

令和元年度進行管理・評価シート
千曲市歴史的風致維持向上計画（平成28年5月19日認定）
（最終変更 令和2年3月13日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実現のための推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 千曲市景観計画との連携	2
2 屋外広告物法との連携	3
3 文化財保護法との連携	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存整備事業	5
2 八幡地区町並み整備事業	6
3 稲荷山伝統的建造物群保存地区 環境整備事業	7
4 更級・姨捨地区 環境整備事業	8
5 水源涵養里山整備事業	9
6 姨捨の棚田耕作支援施設整備事業	10
7 歴史資源調査活用事業	11
8 歴史文化の発信事業	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理・活用等)について	13
2 文化財の修理、整備等について	14
3 文化財の周辺環境の保全について	15
4 文化財の防災に関する取組について	16
5 文化財の保存及び活用の普及・啓発について	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 姨捨棚田で田植え始まる ほか	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 千曲市文化財保存活用地域計画(仮称)作成の取組	19
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	20

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
計画実現のための推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 都市計画課・歴史文化財センターが事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく千曲市歴史的風致維持向上協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。
 計画の推進や事業の実施に際しては、国や長野県の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

千曲市歴史的風致維持向上協議会を開催した。事業計画や進行管理・評価について協議し、多方面から意見をいただいた。
 庁内組織である千曲市歴史まちづくり推進会議を開催した。事業計画や進捗状況の情報を共有し、今後の取組等について確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○千曲市歴史的風致維持向上協議会の開催

第1回

- 1 期 日 令和元年8月22日(木)
- 2 場 所 千曲市役所更埴庁舎
- 3 内 容 (1)取組の経過について
(2)令和元年度事業計画について
(3)今後のスケジュールについて



第2回

- 1 期 日 令和2年2月21日(金)
- 2 場 所 千曲市役所
- 3 内 容 (1)千曲市歴史的風致維持向上計画の令和元年度進行管理・評価(案)について
(2)千曲市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更(案)について

○千曲市歴史まちづくり推進会議の開催

第1回

- 1 期 日 令和元年7月23日(火)
- 2 場 所 千曲市役所更埴庁舎
- 3 内 容 (1)千曲市歴史的風致維持向上計画の概要について
(2)平成30年度進捗状況について
(3)令和元年度事業計画について
(4)今後のスケジュールについて



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
千曲市景観計画との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 景観計画区域は千曲市全域と位置づけ、そのうち重点地区として千曲市を代表する個性ある地域について、重点的かつ段階的に景観形成を進めるために、良好な眺望景観を有する地区、歴史的・文化的景観を有する地区、自然と調和した景観を有する地区などより6地区に分け、姨捨地区を景観形成重点地区に、また、その他の5地区を候補地として設定している。
 今後、他の候補地においても重点地区の指定について検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画の担当者と双方の計画について、情報を共有するとともに現状や課題などについて意見交換を行い、連携を確認した。
 千曲市景観計画に基づき、特定の行為に対して届出の義務を課し、高さや面積、色彩等について景観形成基準に適合するよう誘導している。また、景観形成重点地区として姨捨地区を指定し、より厳しい規制を設け景観の保全を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致維持向上計画の重点区域における景観計画に基づく届出件数

1 稲荷山・桑原・八幡地区	5件
2 更級・姨捨地区	1件
3 戸倉上山田温泉地区	2件
合計	8件

○景観計画担当者との情報共有・意見交換

第1回

1 期日	令和元年6月4日(火)
2 場所	千曲市役所更埴庁舎
3 内容	(1)双方の計画に関する情報共有 (2)現状と課題について意見交換 (3)連携の確認

第2回

1 期日	令和元年10月10日(木)
2 場所	千曲市役所
3 内容	(1)歴史的風致維持向上計画の重点区域における景観計画に基づく届出件数の状況について (2)現状と課題について意見交換 (3)連携の確認

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
屋外広告物法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市における屋外広告物は、屋外広告物条例(平成5年長野県条例第23号)により規制されている。本市内における指定区域には、基本的に屋外広告物を禁止する「禁止地域」と許可申請により設置が可能な「許可地域」の2つがある。これら指定区域における屋外広告物の表示や設置を規制・指導することにより、風致景観を維持されるものであり、本計画では引き続き屋外広告物法と連携して、歴史的風致の維持向上を図っていくものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
屋外広告物の担当者と計画の内容や関係法令について、情報を共有するとともに現状や課題などについて意見交換を行い、連携を確認した。 千曲市景観計画に基づき、特定の行為に対して届出の義務を課し、高さや面積、色彩等について景観形成基準に適合するよう誘導している。また、景観形成重点地区として娯楽地区を指定し、より厳しい規制を設け景観の保全を図っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		地域の特性や千曲市の景観に配慮した屋外広告物に移行していくため、市独自の屋外広告物条例制定について検討が必要になってくる。	
状況を示す写真や資料等			
○屋外広告物担当者との情報共有・意見交換 第1回 1 期 日 令和元年6月4日(火) 2 場 所 千曲市役所更埴庁舎 3 内 容 (1)歴史的風致維持向上計画や屋外広告物関係法令に関する情報共有 (2)現状と課題について意見交換 (3)連携の確認 第2回 1 期 日 令和元年9月4日(水) 2 場 所 千曲市内 3 内 容 屋外広告物表示禁止物件等の一斉点検 第3回 1 期 日 令和元年10月10日(木) 2 場 所 千曲市役所 3 内 容 市独自の屋外広告物条例制定に関する意見交換			

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財保護法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 稲荷山伝統的建造物群保存地区については、“千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区保存計画”(平成26年千曲市教育委員会告示3号)を策定し、保存並びに活用を図るよう取り組んでいる。
 一方、名勝「姨捨(田毎の月)」については、“名勝「姨捨(田毎の月)」保存管理計画”(平成25年7月改訂)を、重要文化的景観「姨捨の棚田」については、“姨捨棚田の文化的景観保存計画”(平成20年3月)を策定し、ゾーニングと整備水準の基本方針を定め、姨捨の棚田の保存と活用に取り組んでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の担当者と歴史的風致形成建造物の整備方針等について協議・情報共有をするとともに、現状や課題などについて意見交換を行い、連携を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○文化財担当者との協議・情報共有・意見交換







第1回
 1 期 日 令和元年5月10日(金)
 2 場 所 千曲市歴史文化財センター
 3 内 容 (1)歴史的風致形成建造物の整備方針等に関する協議・情報共有
 (2)現状と課題について意見交換
 (3)連携の確認

第2回
 1 期 日 令和元年8月27日(火)
 2 場 所 千曲市役所
 3 内 容 歴史的風致形成建造物の整備方針等に関する協議・情報共有

第3回
 1 期 日 令和元年11月12日(火)
 2 場 所 千曲市役所
 3 内 容 歴史的風致形成建造物の整備方針等に関する協議・情報共有

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和7年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	稲荷山伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物等の保存・活用を図るため、建造物等の買上や修理、修景などを行い、歴史的な町並みの整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町屋敷東蔵小路の一角に建つ小出家文庫蔵を修理し、歴史的建造物の保存整備を行った。文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を活用し、事業を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建物東側の壁面のトタンを剥いだところ、柱の腐食が激しく、その補修作業に不測の日数を要したため、令和2年度も継続して修理を行う。		
状況を示す写真や資料等			
小出家文庫蔵・壁面(東側)  修理前		小出家文庫蔵・屋根  修理前	
 修理の様子(竹木舞)		 下地補修の様子	
 中塗りの様子(仕上げは令和2年度に実施)		 修理後(使用可能な瓦は洗浄して再利用した)	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
八幡地区町並み整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松田家及び神宮寺、大頭祭沿道等八幡地区の町並み整備を行う。
また、松田家資料保存整備事業を早期に完成させ、松田家住宅の公開を図る。

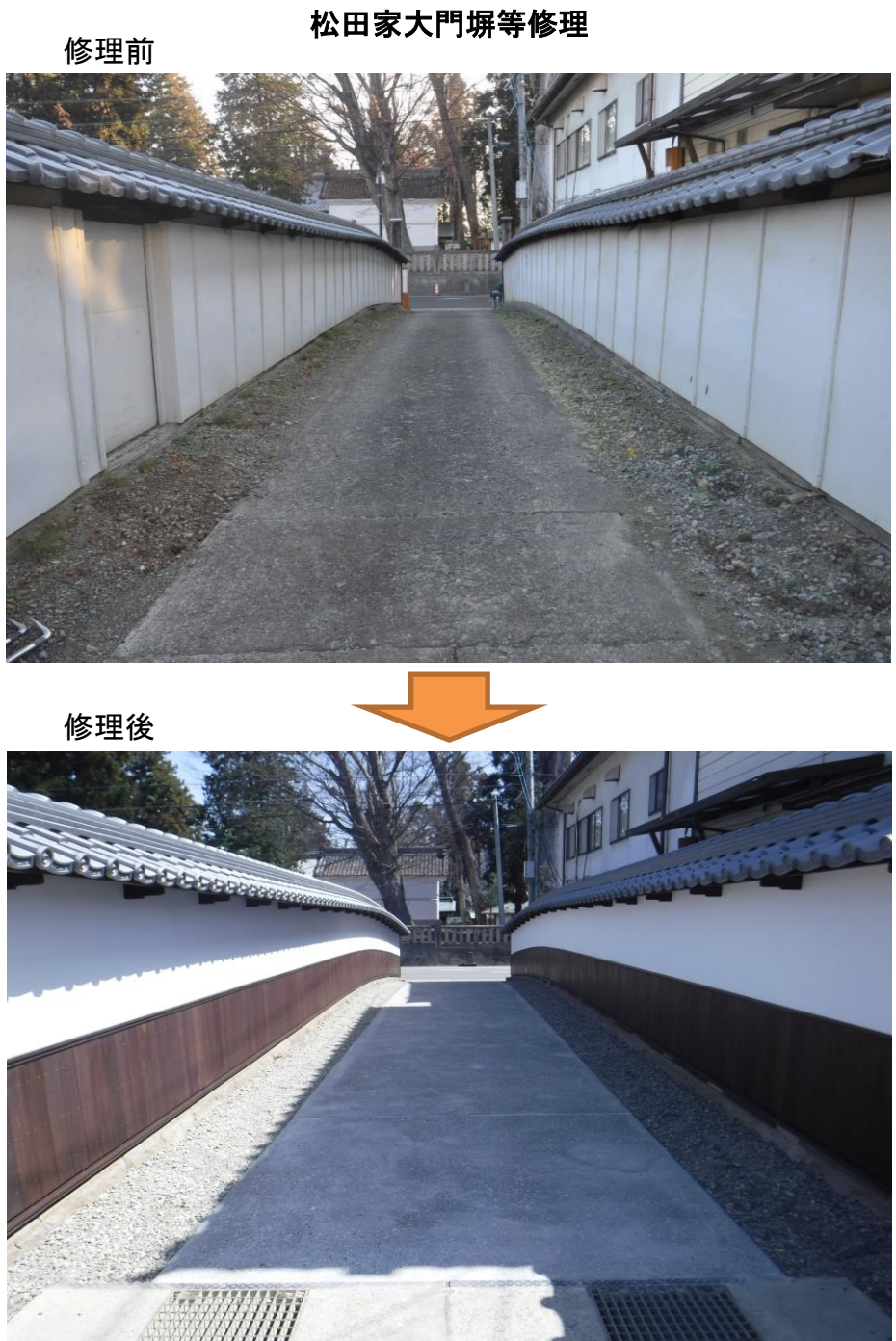
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松田家の大門及び塀の修理、路面の美装化を行い、街並みを整備した。
国土交通省の社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用し、事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
稲荷山伝統的建造物群保存地区 環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 街路整備や防災、拠点施設整備、町家活用など、千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町屋敷東蔵小路の一角に設置されたブロック塀を、歴史的な街並みと調和した板塀に修景した。文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を活用し、事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
更級・姨捨地区 環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成28年度～令和7年度
支援事業名	長野県の「地域発 元気づくり支援金」、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容	名勝「姨捨(田毎の月)」・重要文化的景観「姨捨の棚田」及び周辺の道路、農道、水路などの環境整備を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名勝指定地に建つ姪石苑のトイレを増設するとともに水洗化をし、環境整備を行った。
 長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用し、事業を実施した。
 また、上姪石地区管理道8号線の整備工事(L=93m)を実施し、耕作しやすい環境整備を行った。
 文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を活用し、事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

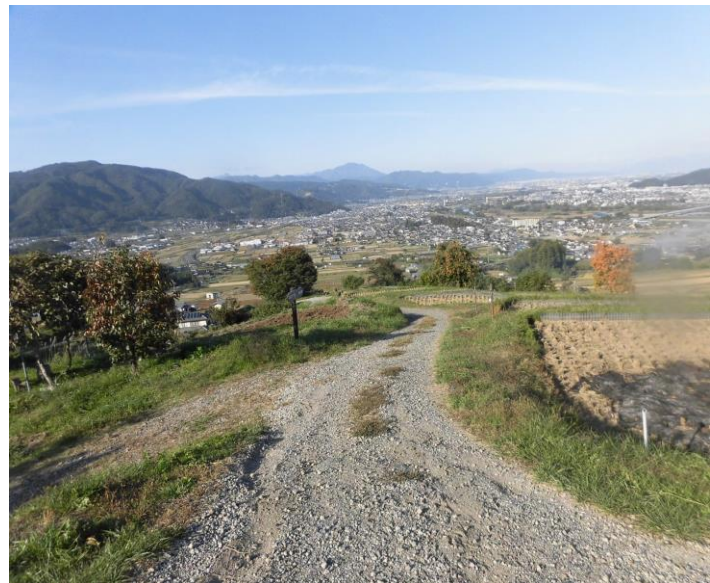
姪石苑トイレの増設・水洗化

上姪石地区管理道の整備

整備前



整備前



整備後



整備後



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
水源涵養里山整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 姨捨の棚田の水源である三峰山や冠着山等の森林整備及び、安全に登れる登山道や遊歩道の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年4月29日に地元区(羽尾第四区、羽尾第五区、仙石区及び須坂区の合計49名)の協力のもと、冠着山登山道の整備を実施した。
 久露滝ルート、坊城平ルート及び鳥居平ルートについて、枝葉の伐採や草刈り、腐食した木製階段の取替作業等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

冠着山登山道の整備の様子



久露滝ルート(羽尾第五区)



鳥居平ルート(羽尾第四区)



坊城平ルート(仙石区・須坂区)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
姨捨の棚田耕作支援施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地形上、耕作者が農機具を置く場所がないため、支援施設(小屋等)の整備を行い、耕作しやすい環境の整備を行うことにより、活動の継続を図る。また、都市と農村の交流を目的とする棚田貸します制度の参加者など棚田への来訪者のための駐車場を整備することにより、農道への駐車を減らし、耕作者にとって耕作しやすい環境の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

来訪者用の駐車場を整備するための用地を取得した。
 取得した用地について、立木の伐採や草刈りを行い、駐車場を整備した。
 駐車場の整備により、農道への駐車を減少させるなど、耕作者にとって耕作しやすい環境を整えた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度は、立木を伐採した跡に残った根株を取り除く抜根の作業や、転落防止柵の設置等を景観に配慮しつつ実施する。
--	--

状況を示す写真や資料等

姨捨の棚田駐車場整備

整備前



整備後



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史資源調査活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成29年度～令和7年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	稲荷山の町並み形成の契機となった稲荷山城跡、更級郡衙範囲など歴史的資源の調査を行い、実態解明を図る。その成果に基づき、その保存並びに活用を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年12月27日に松田家大門の下層の発掘調査を実施した。稲荷山城跡と同時期に構築されたと伝わる中世居館である松田館について、土塁や堀等の地形の改変が行われる以前の現地形状を調査するために行った。
 この調査により、大門南東部の下層で地形が落ち込んでいる様子が確認でき、中世に館を構築する際、大規模な造成が行われている可能性が想起された。稲荷山城築城の手順や手法を考えるうえで、重要な比較データとなった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	稲荷山城跡の範囲等を調査する作業を平成29年度から継続的に実施している。調査地点の候補地を選定し、地権者の協力を得ながら、引き続き調査を実施する。現代の地割図や明治時代の地籍図等も用いて、実態解明を図っていく。

状況を示す写真や資料等

令和元年12月27日 松田家大門の発掘調査



地形が落ち込んでいる様子を確認

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史文化の発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 文化財の将来の担い手である児童・生徒に対し、歴史的風致を中心とした千曲市の歴史文化に関する冊子を作成し、郷土学習資料として活用してもらうほか、観光客に対してパンフレットを作成し配布することで、より一層の誘客増、魅力発信を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年1月29日に上山田小学校の5年生(2クラス43名)を対象に、千曲市の歴史文化に関する講義を実施した。市歴史文化財センター職員より、上山田地区の養蚕業の歴史について説明を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和2年1月29日 上山田小学校での講義に使用した資料(抜粋)



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理・活用等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財は指定・未指定に関わらず、本市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、文化財等の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○建造物調査
 令和元年9月20日に八幡神宮寺の庫裏(清水家)の建造物の調査を実施した。
 この調査により、享保11年(1726年)の箱書きを発見した。
 ○埋蔵文化財調査
 令和元年12月24日に松田家大門の埋蔵文化財の調査を実施した。
 この調査により、明治期以降に造られたと推測する暗渠を発見した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和元年9月20日 八幡神宮寺の庫裏(清水家)の建造物調査



享保11年(1726年)の箱書きを発見

令和元年12月24日 松田家大門の埋蔵文化財調査



明治期以降に造られたと推測する暗渠を発見

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の修理、整備等について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財の修理は、文化財の価値を維持することであるため、過去の改変履歴や調査記録等の活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。
 特に、指定文化財の修理は、文化財保護法や長野県・千曲市の文化財保護条例に基づくとともに、文化庁に指導を仰ぎつつ、関係機関や専門家と連携して実施する。
 また、所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。
 未指定文化財や、歴史的風致形成建造物として指定した建造物の修理については、所有者等と協議しながら、保存のための対策を講じる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年東日本台風(10月12日発生)による強風と豪雨により、登録有形文化財の壁の表面が剥がれ落ちるなどの被害が発生したため、市独自の支援策として当該被害に限定した補助金を交付し、建造物を修理、保存するための対策を講じた。
 指定文化財については、修理、整備の要望がなかったため実績はなし。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和元年10月12日 令和元年東日本台風による主な被害の状況



壁の表面が剥がれ落ちた登録有形文化財の坂井銘醸(戸倉)



壁の表面が剥がれ落ちた登録有形文化財の瀧澤家住宅(磯部)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
----	--------	----------------

文化財の周辺環境の保全について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載
している内容

文化財の周辺環境は、文化財の価値に強い影響力を与えることから、文化財の保存・活用を図る上では、文化財単体にのみ措置を講じるだけでなく、その周辺環境と一体的に措置を講じることにより、文化財の価値を高めることが重要である。そのため、都市計画法や景観法等の関連法令と連動し、文化財とその周辺環境を一体的に保全することが求められる。
このため、引き続き都市計画法や景観法に基づいてその保全に努める。
また、文化財周辺の景観を阻害する要素は、要素の改善や除却をするとともに、整備を行う際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年東日本台風(10月12日発生)による風雨により、市天然記念物セツブンソウの戸倉群生地に繋がる林道において倒木が発生したため、倒木の除去作業を実施するとともに周辺環境の安全を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

倒木の様子



除去作業後



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する取組について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>火災が発生しないよう予防対策の徹底と、火災が発生した際の迅速な消火体制の確保、火災が発生した際に迅速に対応できるよう日頃からの防災教育・訓練に取り組む。</p> <p>予防対策は、消防法で義務づけられている自動火災報知器や消火設備等の防火設備の設置とともに、オール電化の導入を検討し、文化財を保存する上で必要と考えられる防火設備を設置する。</p> <p>防災教育・訓練は、文化財の所有者等に対して防災に係る周知啓発と防災教育に取組み、文化財防火デーには、各地の消防団や各種自主防災組織と連携して文化財施設での消火訓練を実施する。また、地震対策として耐震診断や耐震補強工事の実施など、個別の災害ごとに必要と考えられる対策を行うことにより、き損・滅失のリスクの軽減を図る。</p> <p>また、美術工芸品等の有形文化財は、防犯環境設計の考え方にに基づき、盗難にあわないよう防犯設備の設置を推奨するとともに所有者の意識改善等により、防犯性能の向上を図る。</p> <p>不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>毎年1月26日の文化財防火デーに合わせた取組として、市では令和2年2月2日に国の重要文化財に指定されている智識寺大御堂にて消防訓練を実施した。</p> <p>当日は、智識寺住職・総代会、地元自治会(八坂自治会)、消防署、消防団、市及び市教育委員会の関係者あわせて約50名が参加し、通報訓練、情報伝達訓練、初期消火訓練、収蔵文化財搬出訓練及び放水訓練を行った。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>令和2年2月2日 国重要文化財 智識寺大御堂での消防訓練の様子</p>			
			
訓練前に文化財の説明		初期消火訓練	
			
収蔵文化財搬出訓練		放水訓練	

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市内外の人びとを対象として実施する普及・啓発は、案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、イベントの開催等により、広く普及・啓発を図る。
 市民への主な普及・啓発は、広報誌やイベントの開催等により日頃からの認識向上とともに、地域に根差した伝統芸能や行事の将来の担い手である子どもたちに対しても、これら伝統芸能や行事への愛着をはぐくむための取り組みを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年8月24日から9月29日までの37日間、千曲市森將軍塚古墳館にて、秋季企画展「さらしな はにしな 寺 仏」展を開催した。期間中、約2,800人が見学に訪れた。
 また、展示解説を2回実施し、積極的に地域の文化財の情報発信を行った。約30名の参加があった。
 令和元年9月15日には、屋代に在住する仏師で僧でもある長谷川高隆氏による「仏像修理と山岳修行」と題した講演会を開催した。約50名の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

秋季企画展「さらしな はにしな 寺 仏」展

- 開催期間: 令和元年8月24日～9月29日 (37日間)
- 場 所: 千曲市森將軍塚古墳館
- 見学者数: 約2,800人

展示解説

- 開催期日: 令和元年9月8日、21日
- 内 容: 市歴史文化財センター職員による展示資料の解説
- 参加者数: 2回で約30名



講演会

- 開催期日: 令和元年9月15日
- 講 師: 長谷川高隆氏
- 演 題: 「仏像修理と山岳修行」
- 参加者数: 約50名



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和元年度
アンズ開花宣言から1週間、まだ2分咲き	平成31年4月3日	信州ケーブルテレビジョン
姨捨棚田で田植え始まる	令和元年5月13日	信州ケーブルテレビジョン
屋代南高生、アンズ摘果体験 地元住民らのNPO法人と	令和元年5月14日	信濃毎日新聞
科野のムラお田植えまつり	令和元年6月1日	市報千曲
アンズ収穫、千曲で体験 長野の短大生	令和元年6月29日	信濃毎日新聞
秋季企画展「さらしな はにしな 寺 仏」	令和元年9月1日	市報千曲
武水別神社伝統の「仲秋祭」盛大に	令和元年9月14日	信州ケーブルテレビジョン
第28回森將軍塚まつり	令和元年10月1日	市報千曲
第23回荒砥城まつり	令和元年10月1日	市報千曲
第27回さらしなの里縄文まつり	令和元年10月1日	市報千曲
千曲・稲荷山祇園祭 伝統みこし、令和の息吹	令和元年10月3日	信濃毎日新聞
復元の松田館4棟 22年度の公開目指す 千曲市が方針	令和元年10月3日	信濃毎日新聞
秋の智識寺も乙 <大御堂と燃ゆるモミジに風情>	令和元年11月20日	信州ケーブルテレビジョン
大頭祭前に「釜清め神事」厳かに	令和元年12月3日	信州ケーブルテレビジョン
火災から文化財守ろう 千曲で訓練	令和2年2月3日	信濃毎日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

維持向上を目指す歴史的風致について、メディアに多く取り上げられ、市の歴史や伝統、文化財に関する情報を幅広く発信できた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

催し物

科野のムラお田植えまつり



▲飛び入り参加できる田植え体験

- 日時 6月9日(日)午後1時30分～3時
(小雨決行)
- 会場 科野の里歴史公園「科野のムラ」の田んぼ
- 内容 矢代一重山太鼓の音頭で早乙女さんが古代米の田植えをします。
*田植えの飛び入り参加も大歓迎です。参加した皆さんにおやつを差し上げます。
*当日は、県立歴史館と森將軍塚古墳館の入館料、古墳見学バスの利用料が無料です。
- 問い合わせ先
森將軍塚古墳館(Tel.026-274-3400)

市報千曲(令和元年6月号)より

6月9日(日) 科野の里歴史公園で、豊作を願う「お田植えまつり」



科野の里歴史公園で、豊作を願う「科野のムラお田植えまつり」が開かれました。矢代一重山太鼓の演奏の中、早乙女と一般参加者が約90分かけて、田んぼに古代米とち米の苗を植えました。
早乙女役は、屋代南高校の生徒9人。紺色の衣装に赤い帯を締め、ぬかるみに足を取られながらも、田植えを楽しんでいました。はじめて早乙女の衣装を着て、田植えをした同校3年生の今井涼輝さん(上田市)は「恥ずかしかったですが、昔の文化にふれ合うことができました」と話しました。同じく同校3年生の赤塩葉月さん(長野市)は「お米をつくるのは、とても大変だと感じました」と話しました。
このまつりは、毎年6月に行なわれており、今年で27回目。秋に収穫されるお米は、毎年11月3日に開催される「森將軍塚まつり」でお餅にして参加者の皆さんに振る舞われています。

お田植えまつりの様子を伝える記事
(千曲市のホームページより)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目

千曲市文化財保存活用地域計画(仮称)作成の取組

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市は、市全域の文化財を保存・活用するための取組として歴史文化基本構想策定の作業をスタートさせ、平成30年度は市全域の文化財(文化財指定の有無を問わない)の調査を実施した。

平成30年の文化財保護法(昭和25年法律第214号)の改正を受け、歴史文化基本構想策定の取組をもとに、文化財保存活用地域計画作成に向けた事業に着手し、令和元年度は引き続き文化財調査を実施するとともに、その調査結果を踏まえ、関連文化財群の設定を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
計画作成に当たっては、千曲市歴史的風致維持向上計画の内容を十分に踏まえたものとする。

状況を示す写真や資料等

千曲市文化財保存活用地域計画(仮称)作成スケジュール

行程表

事業内容	事業内容	令和元年												令和2年												令和3年											
		令和元年度												令和2年度												令和3年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
事前把握 (データ整理)	調査データ整理	■																																			
	文化財資料整理	■ 歴史文化財センター職員が実施																																			
文化財調査	現状確認調査	■ 文化財調査員が現状確認 完了												■ 補足調査																							
	追加悉皆調査	■ 千曲市の古道調査・千曲市の水源調査 完了												■ 補足調査 完了																							
	市指定文化財 現状調査	■ 歴史文化財センター職員が実施												■ 補足調査																							
	学校所蔵資料調査	■ センター職員+地域住民が実施												■ 補足調査																							
構想の策定	関連文化財群 の設定	■ 事務局が原案作成 完了												■ 検討												■ 原稿完成 ■ パブコメ ■ 議会説明 ■ 答申 ■ 認定											
	構想の執筆																																				
冊子印刷																										■ 印刷											
文化財調査の市民普及公開														■ 巡回展												■ 古墳館企画展											

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:千曲市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)	
会議等の開催日時:令和2年2月21日(金)13時30分から	
(コメントの概要)	
歴史的風致形成建造物に指定すると補助制度の対象になるので、指定を拡充するなどして、歴史的な建造物の保存・活用をお願いしたい。	
(今後の対応方針)	
歴史的建造物の所有者の意向を確認し、その上で、保存・活用が図れるよう取組を進めていきたい。	